

米国核セキュリティ・サミット
核テロリズムに対抗するためのグローバル・イニシアティブ（GICNT）
を支援するため行動計画概要

GICNTは、核セキュリティの世界的な能力を強化することを目的とした86か国と5つの公式オブザーバー組織で構成。我々は、核セキュリティに関するGICNTの任務の実施を支援するため、この行動計画を、国内の法律、政策、手続き、能力、利用可能な資源に一致する範囲で実行する。

A 能力構築

- 核テロリズムの事案を予防、阻止、検知、対応するためのパートナー国の能力構築を促進するGICNTの活動を支持。
- 重要な技術の理解促進や、関連文書に沿った措置の実施を支援し、パートナー国の技術的能力を強化。
- 重点三項目（核検知、核鑑識、対応・緩和）に関する訓練等を主催。
- 核セキュリティ以外の技術領域や領域横断的な課題の議論、活動の活発化のための専門家会合を開催。

B パートナー国間の協力

- パートナー国間の協力と情報交換のためのGICNTの活動を積極的に支援し参加。
- 核セキュリティに関する危機的状況におけるパートナー国間の関与のメカニズムを強調。
- 経験の共有、助言、協力のために、他のパートナー国に積極的に関与。
- 会議、ワークショップ及び訓練の計画・実施を目的として、二国間又は多国間で協働。
- GICNTの活動への専門家の参加を確保し、分野横断的対話や専門的知識の交換を推奨。
- 核セキュリティに関する国家・多国間の活動に関する情報を共有・報告。

C シナリオ・ベースの議論、机上訓練、実動訓練

- 核セキュリティの原則や指針文書の履行を推進するGICNTの活動を主催。
- 専門家団体との分野横断的な情報交換を促進するGICNTの活動を主催し支援。

- IAEA核セキュリティ・シリーズ文書の実施，シナリオ・ベースの訓練についての分析や議論を目的として，専門家や意思決定者のグループを招集。
- GICNTの実施・評価グループの調整の下で，分野横断的な机上訓練を主催。
- 他国や公式オブザーバーを訓練に招待し，パートナー国に対して結果を報告。
- パートナー国の能力構築を目的としたGICNTの活動に参加。
- 訓練やワークショップからの教訓や結論を，GICNTの戦略計画強化のため等に活用。

D 調整と協力

- 能力構築支援を目的として，関連する国際機関・枠組み間の調整と協力を促進。
- IAEAが主催する情報共有のための定期的な会合への積極的な参加を含む，5つの公式オブザーバー及びその他の関連国際組織・枠組みを支援・補完することを確保。
- IAEA核セキュリティ指針を取り入れ，GICNTの活動やワークショップの中で利用可能な訓練資源や他の手段を強調。
- 核セキュリティ指針に関する教訓の普及のためのワークショップを開催。
- 核セキュリティにおける国家の能力向上のために産業界，医学界，科学界の専門家との協力を奨励。